

2021年4月に静岡交響楽団と浜松フィルハーモニー管弦楽団が合体、富士山静岡交響楽団として新たにスタート

第106・108回定期演奏会

ハイドンシリーズ by ユーフォニア

静響×期待の俊英

原田 幸一郎監修

Save The Young Artists® より

次世代を担う若手ソリストが出演

指揮
原田 幸一郎

ヴァイオリン
吉田 南

チェロ
鳥羽 咲音

第106回定期演奏会 ハイドンシリーズ vol.6

2021年

10/23 土 14:00開演
(13:30開場)

第108回定期演奏会 ハイドンシリーズ vol.7

2022年

1/29 土 14:00開演
(13:30開場)

会場 しずぎんホールユーフォニア

ハイドン／

交響曲第69番 ハ長調「ラウドン将軍」
交響曲第73番 ニ長調「狩り」
ヴァイオリン協奏曲 第1番 ハ長調
交響曲第82番 ハ長調「熊」

ハイドン／

交響曲第83番 ト短調「雌鶏」
交響曲第85番 変ロ長調「王妃」
チェロ協奏曲第1番 ハ長調
交響曲第92番 ト長調「オックスフォード」

※内容は変更になる場合がございます。

各公演	A席	4,500円
チケット	B席	3,500円
全席指定 (税込み)	B席学生	1,500円

※当日500円増 (B席学生は前売と同額)

※未就学のお子様のお入場はご遠慮ください

※B席学生は25歳以下の大学生まで

■前売券販売期間

ハイドンシリーズvol.6(第106回定期)
7月30日(金)～10月21日(木)

ハイドンシリーズvol.7(第108回定期)
10月29日(金)～1月27日(木)

チケット取り扱い

富士山静岡交響楽団

TEL 054-203-6578 (平日9:30～17:30)

https://www.shizukyo.or.jp



チケットはこちら

新型コロナウイルス感染症
対策にご協力ください

ご来場の際はマスクを着用いただき、体調不良の場合は来場をご遠慮ください。今後の感染拡大状況により、本公演を変更・中止する場合がございます。ホームページで最新情報をご確認ください。

富士山静岡交響楽団

主催・お問い合わせ／一般財団法人 富士山静岡交響楽団 TEL 054-203-6578 (平日9:30～17:30)

●後援：静岡県、静岡市 ●協力：静岡銀行 ●助成：独立行政法人日本芸術文化振興会、公益財団法人アフィニス文化財団 ●特別協賛：株式会社大善
●協賛：株式会社アイエイアイ あいネットグループ 加和太建設株式会社 木内建設株式会社 協立電機株式会社 株式会社小系製作所
株式会社小林製作所 サラグループ 静岡ガスグループ 株式会社静岡銀行 株式会社静岡新聞社 静岡放送株式会社
しずおか焼津信用金庫 静鉄グループ 株式会社清水銀行 將軍堂株式会社 鈴与グループ スター精密株式会社
中部電力株式会社 TOKAIグループ はごろもフーズ株式会社 パーパス株式会社 浜松ホトニクス株式会社 株式会社村上開明堂
ヤマハ株式会社 ヨシコン株式会社 ●広報協力：静響を応援する会

ON
STAGE
SHIZUOKA
まちは劇場

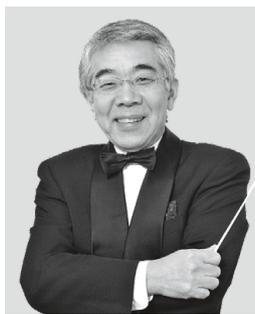
104曲の交響曲を残し「交響曲の父」とよばれるハイドン
ネーミングされた30曲を取り上げるシリーズの第6・第7弾をお届けします
静響が渾身の力で挑むハイドンの魅力をご堪能ください

Save The Young Artists®

新型コロナウイルス感染症の拡大が続くなか、才能あふれるこれらの若者たちに演奏の場を提供し、チケット制スタイルのオンライン配信を行うことで、演奏する喜びとプロの音楽家としての自覚、アーティストとしてのさらなる成長を促すことを目的とするプロジェクト。
<https://www.stya-online.com/>

Koichiro Harada conductor

原田 幸一郎 | 指揮 |



© 堀田力丸

桐朋学園で学び、ジュリアード音楽院にてポール・マカノヴィツキー、ドロシー・ディレイ、イヴァン・ガラミアンの各氏に師事。1969年に東京クワルテットを結成し、翌年ミュンヘン国際コンクールで優勝、その後12年間第1ヴァイオリンを務めた。密度の高い迫力ある演奏が絶賛され、エディンバラ、ルツェルン、タングルウッド、モーストリー・モーツァルトをはじめ数多くの音楽祭に出演。また、DGG、CBS、RCAなどに録音を残し、モントルー・ディスク大賞グランプリを受賞。グラミー賞にも数回にわたりノミネートされた。

1988年指揮者として新日本フィルハーモニー交響楽団を振りデビュー。大阪フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、九州交響楽団、京都市交響楽団、水戸室内管弦楽団、紀尾井シンフォニエッタ東京を指揮するなど、近年は指揮活動にも意欲的に取り組んでいる。

これまで、ハノーファー、エリザベート王妃、ミュンヘン、パガニーニ、ロン＝ティボー国際コンクール等数多くの国際コンクールの審査員を務める。後進の指導にも注力しており、門下生から数多くの国際コンクール入賞者を輩出している。インディアナ大学やパリ・エコール・ノルマル音楽院で教授を務めたほか、ウィーン国立音楽大学、ハノーファー国立音楽大学、ロンドン・ロイヤル・アカデミー、韓国国立芸術大学などでヴァイオリンのマスタークラスを行う。現在、桐朋学園大学特命教授および東京音楽大学特任教授、韓国国立芸術大学客員教授。また、マンハッタン音楽院のファカルティとしても後進の指導にあたっている。

ハイドンシリーズvol.6 出演

Minami Yoshida violin

吉田 南 | ヴァイオリン |

奈良県出身。全日本学生音楽コンクール小・中学校両部門第1位、2014年第83回日本音楽コンクール第1位及び5つの特別賞を受賞。2015年シベリウス国際ヴァイオリン・コンクール入賞、2016年第15回モントリオール国際音楽コンクール第3位。これまでにアロン音楽賞・岩谷時子賞 Foundation for youth、ニューヨークにてSalon de Virtuosi Gala Awardを受賞し、世界各地で演奏活動を繰り広げている。現在米国ニューイングランド音楽院にフル・スカラーシップを得て在学中、またこの春から東京音楽大学アーティストディプロマコースに特別特待奨学生として在学。原田幸一郎・竹澤恭子・Miriam Friedの各氏に師事。Tan Family Education Foundation(米国)・江副記念リクルート財団(第46回生)奨学生。第26回日本財団所有楽器貸与が決まっている。



© Akira Muto

ハイドンシリーズvol.7 出演

Sakura Toba cello

鳥羽 咲音 | チェロ |

2005年ウィーン生まれ。6歳より毛利伯郎氏に師事。第18回泉の森ジュニア・チェロコンクール中学生の部金賞。第19回ロシア・モスクワ若い音楽家のためのコンクール「くるみ割り人形」弦楽器部門銅賞。世界に挑む若い音楽家とアスリートに贈られる第2回「服部真二音楽賞」を受賞。日本フィルハーモニー交響楽団、横浜シンフォニエッタなどのオーケストラと共演する傍ら、リサイタル活動も積極的に行う。桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コース(特待生)に在籍、同大学の「チェロアンサンブル・サイトウ」奨学生。(公財)江副記念リクルート財団第50回(2021年)奨学生および、(公財)ロームミュージックファンデーション2021年度奨学生。使用楽器は1739年モデルMontagnana "Sleeping Beauty"。



© 御堂義乗

Mt. Fuji Philharmonic Orchestra

富士山静岡交響楽団 | 管弦楽 |

この春、静岡交響楽団と浜松フィルハーモニー管弦楽団が合体し、富士山静岡交響楽団として演奏活動をスタート。

静岡交響楽団は1988年に創立し、地域に密着した常設プロオーケストラとして、演奏会やまちかどコンサート、子ども向けの鑑賞教室などの音楽文化普及活動、病院・老人福祉施設へのアウトリーチ活動を展開。近年は、日本オーケストラ連盟正会員を目指す取り組みを本格化し、演奏力の向上と演奏機会の拡充に努め、2020年12月には定期演奏会100回記念の東京公演を盛況のうちに催行した。

浜松フィルハーモニー管弦楽団は1998年に発足し、地元出身のプレーヤーによるプロオーケストラとして、演奏会や子ども向けコンサート演奏会など地元浜松に根ざした音楽活動を行ってきたが、2020年7月に活動休止を決め、そのレガシーを新法人富士山静岡交響楽団に継承することとなった。

富士山静岡交響楽団は、名実ともに静岡県を代表するオーケストラとして地域文化の向上に貢献するため、演奏活動や音楽普及活動を全県域に展開し、益々その活動を広げている。

会場へのアクセス

アゴラ静岡8階(静岡銀行呉服町支店ビル)
〒420-0853 静岡市葵区追手町1番13号
JR静岡駅北口から徒歩約9分、静岡鉄道新静岡駅から徒歩約4分
※駐車場はありませんので近隣の有料パーキングをご利用ください

